

【収入保険】私の選択・加入者の声



「園芸施設共済と併せ備え万全」

【三重県玉城町 野口 嘉人さん（54）】

経営規模＝キク32アール、トルコギキョウ3アール

白ギクの価格低迷が続いているので、単価の高い黄ギクを導入しました。

また、市況を読み、出荷を合わせることは簡単ではないため、安定して高値出荷できるトルコギキョウの試験栽培に取り組んでいます。

挑戦に失敗はつきものですが、もしもの時のダメージはやはり心配です。「失敗の影響を軽減できる保険でもあれば」と思っていたところに、制度の説明を受けることができました。

加入の決め手の一つは、NOSAI職員との信頼関係。私の経営内容をよく理解して勧めてくれているので、間違いのないと思えました。

園芸施設共済（ハウス本体）と農機具共済、建物共済に収入保険を組み合わせます。自分自身のけがなどが原因の収入減もカバーされ、経営に必要な支えが網羅されます。

この先どんな挑戦の機会があるかわかりませんが、備えによる安心材料ができたと思います。

（農業共済新聞 2019年事業推進特集号より）